

令和7年度 池の上小学校研修計画

1 研究主題

児童のやる気を高め、主体的に学ぼうとする学習指導はどうあるべきか
～学び合いを取り入れた授業を通して～

2 研究の仮説

- ・児童主体の学び合いを取り入れた授業改善を行えば、児童の思考力・判断力・表現力等の向上が図られ、主体的に取り組むことができるであろう。

3 仮説検証の手立て

(1) 検証方法

- ・学び合いの形態等を発達段階（学年）に応じてグループごとに実践・検証する。

(2) 検証の具体的取組

- ・学習時のまとめでは、〇〇と型を具体的に示せるようにする。
- ・児童にアンケート（意識調査）を行い、児童の学習意欲が高まったかを検証する。その際、「学習意欲」に関する項目を作成し、無回答率や肯定的回答率等の多面的な検証も行う。
- ・全国学力学習状況調査（6年）と市の総合学力調査（4～6年）の結果を分析し、学び合いが学力向上につながっているかを検証する。また、記述問題での正答率も検証する。

4 研究の流れ

(1) 研修計画

3年計画で研究を進めていくこととする。

（令和6年度）

- ・市の学習支援アドバイザーから学び合いを中心とした授業の在り方を全職員で共有。学び合いを取り入れた指導方法を意識した授業（算数科）を行う。

（令和7年度）

- ・学び合いを取り入れた授業（算数科）を学年の発達段階や実態に応じて、指導改善していく。

（令和8年度）

- ・1年を通して全教科で学び合いのスタイル（授業改善）を意識した授業を行う。教科の特性を生かしたよりよい授業を進めていく。

(2) 令和7年度の研修予定

4月16日 全体研修 (エピペン講習会)
5月1日 研修日 (今年度の研究について)
5月22日 全体研修 (救命救急講習会)
6月5日 研修日
6月12日 全体研修 (学校支援アドバイザー講話)
6月19日 研修日 (南山中学校区の小中交流会)
7月10日 研修日
7月17日 研修日
8月21日 研修日
10月2日 研修日
10月23日 研修日
11月6日 研修日
11月27日 第1回校内授業研修
12月4日 研修日
12月11日 研修日
12月18日 研修日
1月8日 研修日
1月29日 研修日
2月5日 第2回校内授業研修
2月12日 研修日 (年間指導計画の見直し、修正)
2月26日 研修日
3月19日 研究推進委員会 (次年度について)

4 研修を推進するにあたって

(1) 研修組織

- ・協議のブロックを低・中・高と3つに分ける。
(低) …低学年、しいのみ
(中) …中学年、しいのみ、音楽専科
(高) …高学年、しいのみ、教務主任
- ・研究授業は低・中・高で3本行う。学校支援アドバイザー(年3回)
- ・校内授業研修については、ブロックからを1名。
選出し、授業に向けて話し合い、指導案作成など分担して準備を行う。
- ・全員が事前授業を行い、その際は略案を作成する。

(2) 学習環境等

- ・タブレットをすぐに活用できるように机の横に常備しておく。(4年生以上)
- ・課題の工夫し、児童が主体的に取り組めるような導入を行う。(全学年)
- ・学習の「まとめあげる」時間には、必ず振り返りを書かせる。(全学年)
- ・予習を取り入れ、児童が意欲的に学習に取り組めるようにする。(内発的動機づけ)
(3年生以上は自主学習を基本とし、自身の課題にあった学習に取り組む。)
- ・週1回、基礎・基本の学力の定着を意識したテスト(国・算)を行う。